

# えほんだいすき！



— 図書館がすすめる4～5歳の本 —

	<p><b>あおくんときいろちゃん</b></p> <p>レオ・レオーニ／作 藤田圭雄／訳 至光社 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6レ</span></p> <p>あおくんは、家にいないきいろちゃんを探して、探して…、とうとう町かどでばったり。やっと会えて嬉しくなったふたりが抱き合うと、色が変わって緑になりました。</p>
	<p><b>いたずらきかんしゃちゅうちゅう</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6バ</span></p> <p>バージニア・リー・バートン／文・絵 村岡花子／訳 福音館書店</p> <p>小さな機関車のちゅうちゅうは客車や貨車をひっぱって小さな町や大きな町をいったり来たりしていました。ところがある日、ちゅうちゅうは自分だけで走りたくなりました。</p>
	<p><b>いっすんぼうし</b></p> <p>石井桃子／文 秋野不矩／絵 福音館書店 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6ア</span></p> <p>おじいさんとおばあさんは、おてんとうさまを拝んで、子どもを授かりました。それは、親指くらいの小さな男の子でした。</p>
	<p><b>お風呂だいすき</b></p> <p>松岡享子／作 林明子／絵 福音館書店 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6ハ</span></p> <p>ぼくは、お風呂が大好き。いつものようにあひるのプッカと一緒に入ると、お風呂の底から大きなカメが現れた。おまけにペンギンやオットセイ、最後にはくじらまで！</p>
	<p><b>おやすみなさい フランシス</b> <span style="float: right;">ラッセル・ホーバン／文</span></p> <p>ガス・ウィリアムズ／絵 松岡享子／訳 福音館書店 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6ウ</span></p> <p>あらいぐまの女の子、フランシスはちっとも眠くなりません。部屋の中に何かいるんじゃないかと言っては、両親の部屋に行きます。</p>
	<p><b>かにむかし</b> 木下順二／文 清水崑／絵 岩波書店 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6シ</span></p> <p>カニが拾った柿の種は、大きな木になって真っ赤な実をつけました。すると猿がやって来て柿を横どりし、青い実を投げつけられたカニは、べしゃりとつぶれてしまいました。</p>



## かもさんおとおり

ロバート・マックロスキー／文・絵 渡辺茂男／訳 福音館書店

E903.6 マ

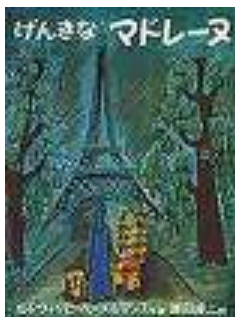
カモのマラードさん夫妻は、川の中州で卵を産むことにしました。やがて大きくなった8羽の小ガモを連れて、川から公園の池に引っ越しをすることになりました。



## くんちゃんのだいらょこう

ドロシー・マリノ／文・絵 石井桃子／訳 岩波書店 E903.6 マ

子ぐまのくんちゃんは、南に向かう鳥を見て、自分も行ってみたいくなりました。ところが、鳥を追いかけて丘に登ったくんちゃんは、忘れ物に気がつきました。



## げんきなマドレーヌ

ルドウィッヒ・ベームルマンス／作・画 瀬田貞二／訳 福音館書店

E903.6 ベ

パリにある古い寄宿舍に12人の女の子が暮らしていました。その中の一番おちびさんが元気なマドレーヌでした。ところがある晩、マドレーヌは急病になってしまい…。



## こねこのぴっち

ハンス・フィッシャー／文・絵 石井桃子／訳 岩波書店 E903.6 フ

フリゼットおばあさんの家にいるこねこのぴっちは、小さくておとなしいねこでした。ぴっちは、他のねこのように遊びませんでした。全然違うことがしたかったのです。



## サリーのこけももつみ

ロバート・マックロスキー／文・絵 石井桃子／訳 岩波書店

E903.6 マ

サリーはお母さんと山へこけももを摘みに行きました。ちょうど同じ時、ぐまの親子も山へこけももを食べに来たのです。二組の親子は途中で入れ違ってしまった。



## したきりすずめ

石井桃子／再話 赤羽末吉／絵 福音館書店 E903.6 ア

むかし、じいさとばあさが一わの雀をかわいがっていました。ところが洗濯のりを食べた雀は、ばあさに舌をちょんぎられてしまいました。じいさは、雀に謝ろうとして後を追いかけて山へ入っていきました。

	<h3>しょうぼうじどうしゃじぶた</h3> <p>渡辺茂男／作 山本忠敬／絵 福音館書店 E903.6ヤ</p> <p>消防自動車のじぶたは、ジープを改良したちびっこ消防車です。ちっぽけなじぶたは、他の消防自動車に馬鹿にされていました。そんなある日、山小屋が火事になったのです。</p>
	<h3>しろいうさぎとくろいうさぎ</h3> <p>ガス・ウィリアムズ／文・絵 松岡享子／訳 福音館書店 E903.6ウ</p> <p>白いうさぎと黒いうさぎが広い森の中に住んでいました。二匹は一日中楽しく遊んで過ごしていましたが、ある時、黒いうさぎがとても悲しそうな顔になりました。白いうさぎがどうしたのか尋ねると…。</p>
	<h3>だいくとおにろく</h3> <p>松居直／再話 赤羽末吉／画 福音館書店 E903.6ア</p> <p>川に橋をかけなければならない大工が困っていると、鬼が出てきて、大工の目玉と引き換えに橋をかけてやると言いました。目玉を取られないためには、鬼の名前を当てなくてはなりません。</p>
	<h3>だるまちゃんとてんぐちゃん</h3> <p>加古里子／作・絵 福音館書店 E903.6カ</p> <p>だるまちゃんは、てんぐちゃんの持っているものが何でもほしくてたまりません。てんぐちゃんのうちわや帽子、そしてながーい鼻も…。</p>
	<h3>ちいさなヒッポ</h3> <p>マーシャ・ブラウン／作 内田莉莎子／訳 偕成社 E903.6フ</p> <p>赤ちゃんかばのヒッポは、おかあさんに大切なかばの言葉を教わりました。「グアオ！」ひとりで遊びに出かけたヒッポは、怖いワニにつかまりそうになってしまいます。「グアオ！助けて！」</p>
	<h3>どろんこハリー</h3> <p>ジーン・ジオン／文 マーガレット・ブロイ・グレアム／絵 渡辺茂男／訳 福音館書店 E903.6ク</p> <p>ハリーは、黒いぶちがある白い犬です。お風呂が嫌いなハリーは、ある日家から逃げ出して外で遊んでどろだらけ。白いぶちのある黒い犬のようになってしまいました。</p>

	<h3>はらぺこあおむし</h3> <p>エリック・カール／作 もりひさし／訳 偕成社 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6カ</span></p> <p>卵から生まれたばかりのあおむしは、おなかがぺっこぺこ。りんごやいちご、ピクルスやチーズまで食べてしまいます。おなかが痛くなったあおむしが次に食べたものは…。</p>
	<h3>ピーターのいす</h3> <p>エズラ・ジャック・キーツ／作 木島始／訳 偕成社 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6キ</span></p> <p>ピーターが赤ちゃんのときに使っていたゆりかごやベットが、生まれたばかりの妹のために塗り替えられてしまいました。ピーターは自分のいすを持って家出をすることに…。</p>
	<h3>ピーターラビットのおはなし</h3> <p>ビアトリクス・ポター／作・絵 いしいももこ／訳 福音館書店 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6ポ</span></p> <p>こうさぎのピーターラビットは、おかあさんの言うことをきかずに、マグレガーさんの畑に行きました。すると、マグレガーさんに見つかり、追いかけてられます。</p>
	<h3>ひとまねこざるときいろいぼうし</h3> <p>H.A.レイ／文・絵 光吉夏弥／訳 岩波書店 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6レ</span></p> <p>アフリカに住む子ざるのジョージは、知りたがりやでひとまねが大好き。黄色い帽子をかぶったおじさんと都会にやってきたジョージは、何もかもがめずらしくてしかたがありません。</p>
	<h3>100まんびきのねこ</h3> <p>ワ ندا・ガアグ／文・絵 石井桃子／訳 福音館書店 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6ガ</span></p> <p>ねこを一ぴき拾ってこようとしたおじいさん。ところが、ねこでいっぱいのおじいさんは、あれもこれも、そこにいるねこを全部連れていきたくなくなりました。</p>
	<h3>ラチとらいおん</h3> <p>マレーク・ベロニカ／文・絵 徳永康元／訳 福音館書店 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E903.6キ</span></p> <p>ラチは、世界で一番弱虫の男の子でした。犬も暗い部屋も、友だちも怖かったです。ある日ラチの前に小さな赤いライオンがやって来て、ラチを強くする特訓を始めました。</p>